

## 第4期室蘭市役所エコオフィスプラン 令和元年度実績について

市では、事業者・消費者として環境への負荷低減に率先して行動するため策定した「室蘭市エコオフィスプラン」の中で二酸化炭素排出量の削減目標を定め、省エネや省資源に取り組んでいます。R1年度の市役所全施設の事務・事業活動に伴う二酸化炭素排出量は次のとおりです。

### 1. 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量

単位：t-CO<sub>2</sub>

項目	H27年度 (基準年度)	R1年度	増減量 〈対基準年度比〉	目標 〈対基準年度比〉
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量	31,936	29,811	▲2,125 〈▲6.7%〉	R2年度 〈▲5%〉

R1年度は、全庁的な節電・節暖の継続的な実施、省エネガイドラインによる省エネ化等を推進したほか、各施設の廃止等により各種燃料の使用量が減少したことから、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量は基準年度と比較して 2,125-t-CO<sub>2</sub> 減少 (6.7%減) しました。

#### 【主な施設の排出量増減】 基準年度(27年度)との比較

単位：t-CO<sub>2</sub>

施設	H27年度 (基準年度)	R1年度	対基準年度増減量	CO <sub>2</sub> 排出量の 主なエネルギー種
本庁舎及び広域センタービル	550	579	29	電気
ロードヒーティング	3,102	3,739	637	電気
蘭東下水処理場	2,823	2,526	▲297	電気
市立病院 (本院)	5,688	4,950	▲738	重油・電気
入江温水プール	1,056	828	▲228	電気・都市ガス

- 多くの職員が事務を行う本庁舎及び広域センタービルでは、基準年度より冬季の気温が低く、暖房の使用燃料量が増えたことなどにより、29t-CO<sub>2</sub>増加。
- ロードヒーティングは、基準年度より冬季の気温が低く、稼働時間が多くなり、637t-CO<sub>2</sub>増加。
- 蘭東下水処理場は、施設改修に伴い下水汚泥の一部の曝気が不要となり、エアレーションタンクへの空気送付に係る電気使用量が減り、297t-CO<sub>2</sub>減少。
- 市立病院は、継続的に照明のLED化を推進したほか、BEMS(ビルエネルギー管理システム)の導入により、自家発電の効率化が図られ、重油使用量が削減されたことにより、738t-CO<sub>2</sub>減少。
- 入江温水プールは、H28年12月からエネファームを導入したことにより、電力使用量が抑制され、228t-CO<sub>2</sub>減少。

### 2. 今後のプラン推進への取組について

- 夏季・冬季の節電・節暖対策として、「消灯」「クールビズ」「ウォームビズ」など、取組ごとのCO<sub>2</sub>削減量や削減費用を「エコオフィスリーフレット」等に取りまとめ、庁内への周知・啓発を継続することで、省エネ意識の向上と、定着節電量・節暖量の増加につなげていきます。
- CO<sub>2</sub>排出量のエネルギー別構成比は、電気使用に伴う排出が約74%と大きいことから、上記節電の取り組みのほか、省エネ対策ガイドラインに基づく照明等の省エネ化を推進し、設備面におけるCO<sub>2</sub>削減に取り組めます。



未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」とは、低炭素社会実現のため日本が世界に誇る省エネ・低炭素型製品・サービス、行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

身近な生活の中で、未来のために今選択できるアクションを選ぶ。

室蘭市は「COOL CHOICE」に賛同しています。